

## 国際化学肥料ニュース (2016年9月)

### 肥料業界の2016年9月動態

- \* 世界的加里肥料需要不振を受け、大手加里肥料メーカーの輸出量が急減した。カナダ PotashCorp 社の1~6月塩化加里輸出量が前年同期より236.4万トン減の749万トン、ベラルーシ BCP 社も1~6月塩化加里輸出量が前年同期より107.4万トン減の383.7万トンである。
  
- \* 9月13日インド MMTC 社は150万トン尿素の入札を行い、22日締め切った後の発表では、25社計280万トンの応札があった。応札価格は CFR200~206 ドル/トンで、8月に行った IPL 社の最低入札価格より9ドル/トン上がった。その理由は、今回の購買量が多く、イランと中東湾岸が供給できる数量がそれぞれ30万トンずつで、不足の90万トンは中国から購入する必要がある。但し、MMTC 社は今回の応札価格と数量のバランスを図って、必ず150万トンを購入するわけではなく、それ未満の数量もあり得ると漏らした。
  
- \* 中国国家统计局が発表した最新の統計データによれば、中国8月の化学肥料生産量が608.14万トン（純含有量に換算、以下同）、前年同期より13.7%減であった。1~8月の化学肥料生産量4927.94万トン、1990年以降初めてマイナス成長を記録した。  
窒素肥料は8月の生産量392.83万トン、減少幅が14.9%で大きく、1~8月生産量が3308.13万トン、0.9%の微増であった。8月の尿素実生産量267.67万トン、15.8%も減少した。8月末現在の尿素生産設備稼働率が55%前後まで落ちた。  
りん酸肥料は8月の生産量が14%減の147.72万トン、1~8月生産量が3.9%減の1193.03万トンである。9月上旬現在の DAP 生産設備稼働率50.13%しかなく、MAP 生産設備稼働率も5割前後に推移している。  
加里肥料は唯一プラス成長の肥料である。8月の生産量が3.08%増の54.84万トン、1~8月生産量が5.41%増の402.61万トン。
  
- \* 中国税関統計データによれば、8月 DAP 輸出量90.65万トン、1~8月の DAP 輸出量359.28万トン、昨年同期より73万トン減少した。輸出価格の下落が激しく、昨年8月の FOB 価格420ドル/トン以上であったが、今年8月に310ドル/トンまで下落した。  
一方、尿素も高生産コストとイラン、中東湾岸の新生産ラインの稼働により輸出量も激減した。1~8月尿素輸出量677万トン、昨年同期より25%減少した。輸出価格は昨年平均 FOB286.5ドル/トンから8月現在の204.2ドル/トンに急落した。

1～8月の塩化加里輸入量 388.1 万トン、硫酸加里輸入量 4.3 万トン、同じ期間に塩化加里輸出量 17.1 万トン、硫酸加里輸出量 7.7 万トンである。

### 大手各社の営業業績

- \* イスラエル ICL 社が第 2 四半期の業績を公表した。加里肥料生産量 136.3 万トン、りん鉱石生産量 155.3 万トン、売上高 13.77 億ドル、純利益が 60%増の 1.2 億ドルであった。
- \* ノルウェー Yara 社が第 2 四半期の業績を公表した。売上高 30.5 億ドル、純利益 3.53 億ドルであった。
- \* ロシア Acron 社が今年上半期の業績を公表した。アンモニアを含む肥料生産量が 9%増の 303.7 万トン、その内訳はアンモニアが 11%増の 95.7 万トン、硝安が 13%増の 85.9 万トン、尿素が 25%増の 37 万トン、尿素硝安溶液 (UAN) が 31%増の 53.6 万トン。NPK 化成肥料が 5%増の 108 万トン。売上高が 2%減の 511.99 億ルーブル(約 7 億 2900 万ドル)、EBITDA が 9%減の 184 億 800 万ルーブル(約 2 億 6200 万ドル)、純利益が 6%増の 128 億 3700 万ルーブル(約 1 億 8300 万ドル)であった。

### 肥料資源の探索と肥料プラント新規建設

- \* ラオス首都ヴィエンチャンの東約 40km のところで新たにカーナライト鉱脈(塩化加里の原料)が発見されたと中国系の探鉱会社が発表した。初歩予測埋蔵量 1.96 億トン、最終予測埋蔵量 7.88 億トン、鉱脈の平均厚さ 74m、平均 KCl 含有量 17%以上ということである。

ラオスのヴィエンチャン盆地には豊富なカーナライト資源がある。現在計 10 社が探鉱と開発中で、その中の 9 社が中国系である。但し、鉱脈が地下深いところにあり、KCl 含有量が低い(平均 15～17%)ため、採掘と精製が困難である。

### その他

- \* 8 月 30 日カナダの PotashCorp 社と Agrium 社は 2 社合併に関する交渉が始まったと発表した。現在 2 社の時価総額約 270 億ドル、年間売上高約 210 億である。合併が成功すれば、新会社が北米の塩化加里 62%、りん酸肥料 30%、窒素肥料 29%の生産能力を握る。合併に当たって、独占禁止法律に従い、カナダ政府とアメリカ政府の審査が必要である。現時点では、カナダ政府は合併に賛成の態度をもっているが、アメリカ政府の態度が不明である。

\* カナダ PotashCorp 社と Agrium 社の合併について、その詳細な内容が漏れてきた。PotashCorp 社の 1 株が新会社の 0.400 株、Agrium 社の 1 株が新会社の 2.230 株と交換する。株式交換は 2017 年に完了する予定で、PotashCorp 社の株主が新会社の 52%株式を持ち、Agrium 社の株主が残りの 48%を持つ。新会社の CEO は Agrium 社 CEO の Chuck Magro 氏、COO は PotashCorp 社 CEO の Jochen Tilk 氏がそれぞれ就任する予定である。

\* カナダ PotashCorp 社と Agrium 社の取締役会は両社の合併案を承認した。11 月 3 日にそれぞれ特別株主総会を開き、株主の投票で合併が承認される見通しとなる。残りはカナダとアメリカ政府の承認、カナダ裁判所の承認手続きである。合併は 2017 年夏秋に完了する予定である。

\* 中国政府は有機肥料中の Tetracyclines 系抗生物質に関する測定方法の国家標準を公表した。2017 年 3 月 1 日から施行する。有機肥料中の Tetracyclines 系抗生物質を規制する法律も制定する予定である。

Tetracycline、Oxytetracycline、Chlortetracyclin などの Tetracyclines 系抗生物質は家畜養殖に大量に使用される抗生物質で、家畜糞尿から排せつされ、農地の抗生物質汚染の主な汚染源である。これらの抗生物質が分解しにくく、土壌、地表水、地下水などに生息している微生物に作用し、抗生物質耐性菌を誘発し、公衆衛生に悪影響を及ぼす。調査データによれば、2013 年中国の抗生物質使用量 16.2 万トン、その中の 52%が畜産養殖業に使用された。家畜糞尿に高濃度の抗生物質とその代謝物が検出され、有機肥料として利用される場合は土壌汚染を引き起こす恐れがあるため、規制する必要があるということである。

\* 9 月 16 日アメリカの Mosaic 社はフロリダ州のりん安工場に汚染水がたまっている地下空洞を発見したと発表した。

当該空洞はりん安の生産工程から排出されたりん石膏の置き場の下にあり、直径約 14m、溜まっていた汚染水が約 81 万 m<sup>3</sup> もある。汚染水はりん石膏置き場の雨水で、りん鉱石由来の微量の放射線が検出された。汚染水が地下水層に浸透したとの推測もある。

フロリダ州は豊富なりん鉱石資源があるため、アメリカのりん酸肥料最大の生産地である。1960 年からりん安生産工程から排出されたりん石膏などの産業廃棄物が増え続けた。2004 年の台風でりん安工場の排水処理池は崩壊し、約 25 万 m<sup>3</sup> の汚染水が海に流出し、魚類や海藻類に被害を与えた過去がある。今回の地下空洞は 8 月 27 日に発見され、すぐフロリダ州環境保護局に報告したが、公開されたのは 3 週間後であったため、

環境保護団体から批判された。なお、地下空洞に溜まっていた汚染水がすべて吸い上げられ、安全な場所へ移送した。